

岩手県金融経済概況（平成 25 年 6 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、個人消費が底堅く推移しているほか、建設投資も公共投資、住宅投資を中心に高い伸びを維持している。

鉱工業生産は、足許、減少している。

雇用情勢は、改善している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅い動きを続けている。

百貨店売上高は、天候要因もあって4、5月不冴え裡に推移した後、6月は、衣料品、食料品を始め多くの品目で前年比プラスに転じている（前年比：+1.7% < 平成 22 年対比：+10.1%>）。

【前年比の推移（括弧内：22 年対比）】

| | 衣料品 | 飲食料品 | 全 体 |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 25 年 4~6 月 | ▲ 1.4% (+ 4.5%) | ▲ 1.8% (+ 2.8%) | ▲ 3.1% (+ 3.5%) |
| 4 月 | ▲ 5.8% (+ 3.8%) | ▲ 4.1% (▲ 3.6%) | ▲ 5.5% (▲ 0.2%) |
| 5 月 | ▲ 6.1% (▲ 0.9%) | ▲ 3.3% (+ 3.3%) | ▲ 5.8% (+ 0.1%) |
| 6 月 | + 6.6% (+ 9.8%) | + 1.8% (+ 8.6%) | + 1.7% (+10.1%) |

スーパー売上高は、3月に前年比+8.5%となった後、4、5月は天候不順の影響もあって前年割れとなっている（全店舗ベース前年比：平成 25 年 3 月 +8.5% → 4 月 ▲1.9% → 5 月 ▲1.1%）。

新車登録台数は、エコカー補助金受付終了の影響もあって高水準の前年を下回って推移しているが（平成 25 年 4~6 月前年比 ▲10.1%）、例年対比では高い水

準を維持している（過去5年間平均比：4~6月+17.3%）。

(2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共投資は、震災復旧工事を中心に増加テンポを強めている（公共工事請負額の震災前5年間<平成18~22年>平均値比、平成24年10~12月2.1倍 → 25年1~3月2.3倍 → 4~6月2.9倍）。

民間設備投資は、平成24年度に震災復旧対応投資を中心に前年を上回った後、平成25年度は、製造業、非製造業とも前年度を下回る計画となっている。

―― もっとも、6月短観の結果をみると、前回（3月）調査比では、製造業が下方修正となる一方、非製造業では、建設業を中心に計画を上方修正する動きが目立っている。

住宅投資は、貸家が昨年同時期の集中着工の反動もあって足許前年割れとなっている一方、持家については、震災に伴う建替需要や消費税増税前の駆け込み需要等から前年を上回って推移している。

【新設住宅着工戸数・前年比の推移】

| | 持 家 | 貸 家 | その他共計 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 24年10~12月 | + 38.9% | 2.9倍 | + 88.0% |
| 25年1~3月 | + 3.2% | + 77.0% | + 30.4% |
| 4月 | + 3.4% | ▲ 51.4% | ▲ 18.5% |
| 5月 | + 29.2% | ▲ 12.3% | + 20.2% |

こうした状況下、県内の官民建設工事全体の出来高（建設総合統計）は、高い伸びを維持している（過去5年間の同期間平均値比：平成24年10~12月+33.6% → 25年1~3月+58.5% → 4月 +49.1% → 5月 +39.3%）。

3. 生産動向

鉱工業生産（製造業生産）は、平成25年1~3月期に高い伸びを示した後、4、5月については、ウエイトの高い電子部品・デバイスが弱めの動きになったこともあって減少している（季調済前期<月>比：平成25年1~3月+18.5% → 4月▲14.4% → 5月▲3.9%）。

4. 雇用、所得の動向

雇用情勢は、改善している。

有効求人倍率は、本年1、2月に約20年振りに1.00倍を記録した後、3月（0.97

倍)、4月(0.99倍)と幾分低下したが、5月は、再び1.01倍に上昇した。

雇用保険被保険者数(民間企業中心の全数調査)(5月)は、354,622人(前年比+1.8%)と直近ピークを更新した^(注)。

注：これまでの直近ピークは、平成24年12月352,293人。

雇用者所得(県内合計値)(5月)は、再び前年比プラスに転じている(前年比：平成24年10~12月+3.4% →平成25年1~3月▲0.1% →4月▲2.2% →5月+2.0%)。

5. 企業倒産

6月中の企業倒産は、3件、約13.4億円と、件数で前年(6件)を下回ったものの、金額では前年(約12.9億円)を若干上回った。

――年初来累計(平成25年1~6月合計値)では、18件、約44.3億円と低水準であった前年(平成24年1~6月合計値：24件、約50.1億円)を更に下回っている。

6. 金融面の動向

県内金融機関の預金は、公金預金の高止まりもあって、高目の伸びが続いている(残高前年比<銀行>：平成25年3月末+8.0% →4月末+7.0% →5月末+7.6%)。

県内民間金融機関の貸出は、緩やかな増加を示している(同：平成25年3月末+8.4% →4月末+6.7% →5月末+8.1%)。

この間、貸出約定平均金利は総じて低下傾向にある。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622(代) <http://www3.boj.or.jp/morioka/>